



自由自在に学ぶ

- 夜間クラス
- フレックスクラス

自宅？

通学？

オンライン？

オンデマンド？

対面授業？

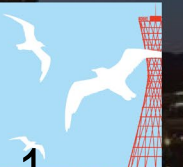
学び方を自由に選べる大学院

夜間クラス、フレックスクラスともオンラインで学べます。

兵庫教育大学

Hyogo University of
Teacher Education

神戸ハーバーランドキャンパス



今、実践していることは本当に正しいのだろうか？
今まではうまくいっていたのに、なぜうまくいかなくなっただろう？

うまくいっているのには理由（理論）がある。
うまくいかなくなったことにも理由（変化）がある。

さまざまな課題を持ち、研究をすすめる仲間と
意見を交わす中で、学びをより深めていく
それが兵庫教育大学大学院

大学院夜間クラス・フレックスクラス4つのメリット

① 学校現場を離れずに学べる。

日本全国どこからでもOK ※

※一部のコースは通学が必要です。コース別一覧参照

② 指導教員等と相談しながら、柔軟な指導が受けられる。

※オンラインに加え、神戸キャンパスでの対面授業も選択できるハイフレックス方式を導入

③ 教職を続ける基盤となる理論や実践、研究方法を身に付けることができる。

④ さまざまな課題を持ち、研究をすすめる仲間や大学教員と意見を交わしながら、学びをより深めていくことができる。

○大学院修了時には、修士や教職修士（専門職）の学位や専修免許状が取得できます。

◎ 兵庫教育大学大学院でめざすもの

- ①：すべての学びのベースとなる「論理的思考力」や「批判的思考力」を鍛える
- ②：ICT活用能力や短期的なスキルとしての教育実践の獲得
- ③：自身の成長を見据え、長期的な視点に立った教育理論・方法の獲得と継続的な学び方の修得
- ④：院生同士、大学教員との課題の共有、意見交換などを通して多様な知見に触れることで、自身の視野やコミュニティーを広げ今後の教職生活の基盤を形成

自身の学びや成長を継続するために、切磋琢磨し合える仲間がいる環境に身を投じてみませんか。

夜間クラスといっても、オンラインと通学の対面授業を選択できるなど、自分に合った方法で学べます。

働きながら学べる教育大学の大学院

⇒夜間の対面からオンラインを駆使したハイフレックス型への進化

- 自宅や職場などからオンライン（同期型・オンデマンド型）で授業を受講できます。
- 大学院の教員と相談しながら、自分に合った方法・ペースで学べます。
- 通学による対面授業も効果的に行っています。

⇒例えば

- ・基本は通学せずにオンラインで受講し、研究指導等は指導教員と相談のうえ、土日や夏期休業期間中などに神戸ハーバーランドキャンパスで対面で受講
- ・週に1日だけ神戸ハーバーランドキャンパスに通学する以外はオンラインで受講

兵庫教育大学大学院が、夜間クラスを神戸市で開設して、今年で23年目を迎えます。

これまでに夜間クラス・フレックスクラスの修了者は約1,000人、学校現場や医療関係機関など教育隣接領域を中心に活躍中。

大学教員になって教育学部や教職課程で教えている方もいます。

各専攻・コース(フレックスクラス)の授業について

オンラインのみで修了可能なコースについても、「オンラインでの同時双方向授業(同期型)と通学による対面授業を選択できるハイフレックス科目」を設定するなど、対面授業を効果的に実施しています。

※ 通学は原則として神戸キャンパスになりますが、実験・実習・実技については、設備の関係上加東キャンパスで実施することがあります。
 なお、神戸キャンパスは令和6年10月からJR新長田駅前に移転する予定です。

凡例 オンラインのみでの修了の可否

1 ほぼ可能 2 選択した授業により通学が必要 3 通学が必要

令和5年4月1日

コース	オンラインのみでの修了の可否/ 週あたりの通学状況	課題研究や研究指導、ゼミの実施方法	フレックスクラスの特徴・特性
人間発達教育専攻			
教育コミュニケーションコース	3 週1回程度	主として通学 [オンラインを併用] [することも]	人と人との対話的な関係を大切にしながら、通学とオンライン双方のよさを生かしつつ、教育や人間形成の本質を探究します。
幼年教育・発達支援コース	1 通学不要	オンライン	全ての授業をオンラインで実施しているため通学は不要です。加東キャンパスでの対面授業を行うことがありますが、オンラインでも参加可能です。仕事の都合で正規の授業時間に間に合わないときに、授業動画の視聴による受講が可能な科目もあります。課題研究や研究指導は必要に応じて対面で実施し、時間が調整できれば昼間クラスと合同で行うことがあります。
学校心理・学校健康教育・発達支援コース	1 ほぼ通学不要	主としてオンライン [進度により通学も] [あり]	<ul style="list-style-type: none"> 授業やゼミはオンラインを中心に実施します。 心理検査やデータ分析等については、通学による授業でもサポートします。 「心理教育アセスメント」：通学による授業の方が多いです。 「心理統計研究法」、「心理統計研究法演習」：2科目合わせて30回のうち、対面は6回あります。 「発達アセスメントと支援」：15回のうち対面は5回で集中講義で実施します。 心理学系の資格取得を希望する場合は、通学による授業を履修する必要があります。
臨床心理学コース <small>*令和6年4月から</small>	1 通学不要	オンライン	教育現場ならびに対人援助現場の課題解決型のクラスです。ICTやオンラインを活用し、自宅にいながらすべての授業を受講できるクラスです。通学の必要はありません。オンデマンドとオンライン(同期型)の併用により講義等を行います。オンライン授業(同期型)は、主に土曜日に開講しますので、勤務しながら学ぶことができます。 (臨床心理士・公認心理師試験受験資格には対応していません)
芸術表現系教育コース (音楽)	2 週1~2回程度	主として通学 [オンラインも含めて] [柔軟に対応]	実技や演習を伴う科目では、演奏表現による対話的な探究が求められるため、週に1~2回程度、通学による対面授業や休業期間中の集中講義を実施することがあります。
芸術表現系教育コース (美術)	1 ほぼ通学不要	主としてオンライン [希望や必要等に] [応じて通学でも実施]	オンラインでの受講が可能ですが、希望や必要等に応じて休業期間中に学外での演習や加東キャンパスでの対面授業を実施することがあります。
生活・健康・情報系教育コース	2 ほぼ通学不要(研究テーマによる)	主としてオンライン	<p>技術・情報分野 電気電子、情報科学、教育工学、データサイエンス、技術・情報教育法などの専門分野があります。このうち、情報科学、教育工学、データサイエンスは、研究テーマを工夫することでオンラインによる修了が可能です。(研究テーマによっては、対面による実験が必要な場合があります。)技術・情報教育法は調査や実践等のフィールドを学生自身が有している場合にはオンラインでの修了が可能です。ただし、電気電子は実験実習を要するためオンラインのみでの修了はできません。また、実験実習を伴う通学による集中講義が一部あります。</p> <p>家庭分野 集中講義による科目の中には、通学により授業を行うものもあります。</p>

コース	オンラインのみでの 修了の可否/ 週あたりの通学状況	課題研究や研究指導、 ゼミの実施方法	フレックスクラスの特徴・特性
特別支援教育専攻			
障害科学コース	2 ほぼ通学不要	主としてオンライン 〔一部対面の演習等 あり〕	全国の現職教員が働きながら学修できます。特別支援学校（3領域）の1種免許状も取得可能です。 なお、昼間クラスとは開講科目や修了要件が異なります。
教育実践高度化専攻			
学校経営コース	1 通学不要	主としてオンライン	専門科目は、オンライン（録画）を中心に授業を進めますが、昼間クラスの学生との合同授業回数も設定し、対面またはオンライン（同時双方向）を選択できるハイフレックス方式で実施します。 課題研究は、全ての授業回を昼間クラスの学生との合同授業として、対面またはオンライン（同時双方向）を選択できるハイフレックス方式で実施します。 ゼミ等の研究指導は、オンライン（同時双方向）を中心に実施します。 そのため、修了要件を満たすうえで通学が必要とはなりません。昼間クラスの学生との合同授業に際して、対面参加することも可能であり、修学と仕事の両立を図りながら、フレックスクラスの学生自身が主体的に選択することが可能です。
教育方法・生徒指導 マネジメントコース	1 ほぼ通学不要	主としてオンライン （一部対面の授業あり）	原則、非同期型、同期型オンラインによる授業形態を取ります。ただし、教育相談に関する専門科目では、一部通学による対面授業を実施します。研究指導（ゼミ）は、学生の通学範囲、希望等によりオンラインか通学による授業かを選択できます。
言語系教科マネジメント コース	1 通学不要	主としてオンライン	〈ことばの教育〉に関わる諸問題を考えます。さらに、フレックスクラスの特徴・特性を活かして、様々な学習システム、学習形態、言語使用の可能性を見出し、未来の〈ことばの教育〉について考えます。
社会系教科マネジメント コース	1 ほぼ通学不要	主としてオンライン	通学による対面指導を取り入れることも可能です。
理数系教科マネジメント コース	1 ほぼ通学不要	主としてオンライン	実験・実習等を必要とする場合は、夏期休業期間中などに通学による対面授業を実施することがあります。
グローバル化推進教育 リーダーコース	1 通学不要	主としてオンライン	講義・演習はオンラインでの実施を基本としますが、個別ゼミは通学での実施も可能です。
教育政策リーダーコース	1 ほぼ通学不要	主としてオンライン 〔休日や夜間における 指導が中心〕	教員が学生の元に赴き行う「出張講義」（学生の要望等を踏まえた時期・場所で受講が可能です）、教員の授業を収録したネット配信等でフレックスに学ぶことができる「VOD方式講義」、「Web会議システムによる研究指導」、学生が一同に会する「集中演習」や「フィールドワーク」の組み合わせを基本としています。（演習や実習等においては、神戸や各地での対面授業等も一部あります。）
授業実践課題探究コース	2 ほぼ通学不要	主としてオンライン	授業実践課題探究コースの専門科目「教育実践リフレクション」は、基本的には修学指導教員と学生がオンラインのゼミ形式で実施しますが、3か月に1度、教員と学生全員による「対面による実践の語り合い（合同ゼミ）」を実施します。

○夜間クラスの授業時間

(オンライン同期型授業や神戸ハーバーランドキャンパスでの対面授業の場合)

平日 (月曜日～金曜日)

時 限	授業開始時間	～	授業終了時間
6時限	18時30分	～	20時00分
7時限	20時10分	～	21時40分

※オンデマンド授業はいつでも好きな時に受講可能

○神戸ハーバーランドキャンパスの利用時間

平日 9時～22時

土日祝 9時～18時

院生研究室・図書室等自由に利用できます。

※大学の休業日等は除きます。

○オンライン授業で必要なもの

入学者が用意するもの

- ・ PC又はタブレット（キーボード付き）
- ・ Webカメラ（PCやタブレットに付属している場合は不要）
- ・ Wi-fi環境

大学が用意しているもの

- ・ WORDやExcel,PowerPoint,Teams（office 365）
- ・ 学ぶためのシステム（LMS）
※オンライン授業は、基本的にはTeams又はzoomを使用します。
授業の連絡は、大学で導入しているLMS（manaba）を使用します。

ソフトウェアの使い方に不安のある人も安心

- ・ LMS等のマニュアルを整備（Webでいつでも参照可能）
- ・ オリエンテーションでの説明や神戸HLC事務室などでも対応

入学料・授業料

2年間で修了する場合

単位：円

	1年次	2年次	計
入学料	282,000	—	282,000
授業料	535,800	535,800	1,071,600
計	817,800	535,800	1,353,600

3年間で修了する場合（長期履修学生）

単位：円

	1年次	2年次	3年次	計
入学料	282,000	—	—	282,000
授業料	357,200	357,200	357,200	1,071,600
計	639,200	357,200	357,200	1,353,600

長期履修学生制度とは

- ・職業等を有する方が、2年間のカリキュラムを3年間かけて、ゆったり学べる制度です。
授業料は長期履修学生制度を活用しても2年で修了する方と同じです。

神戸ハーバーランドキャンパス JR神戸駅徒歩 約8分

※令和6年10月からはJR新長田駅前に移転する予定です。

今日の学びが明日の実践に活きる

For your children

Hyogo University of Teacher Education